

米国経済・金融概況 (2022年1月)

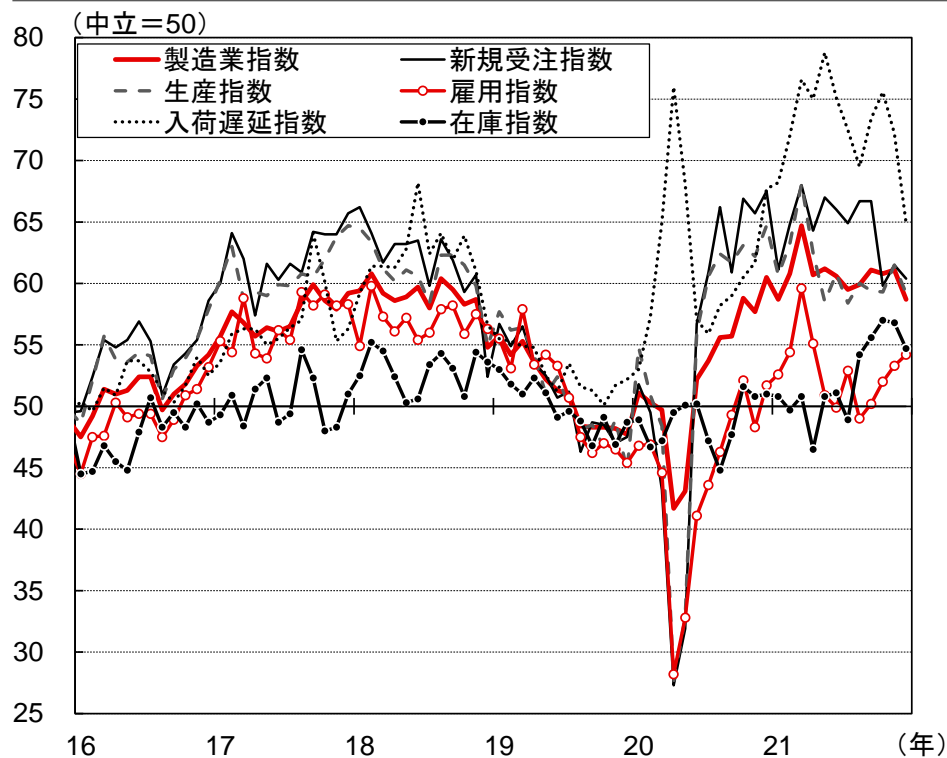
2022年1月14日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. 企業活動

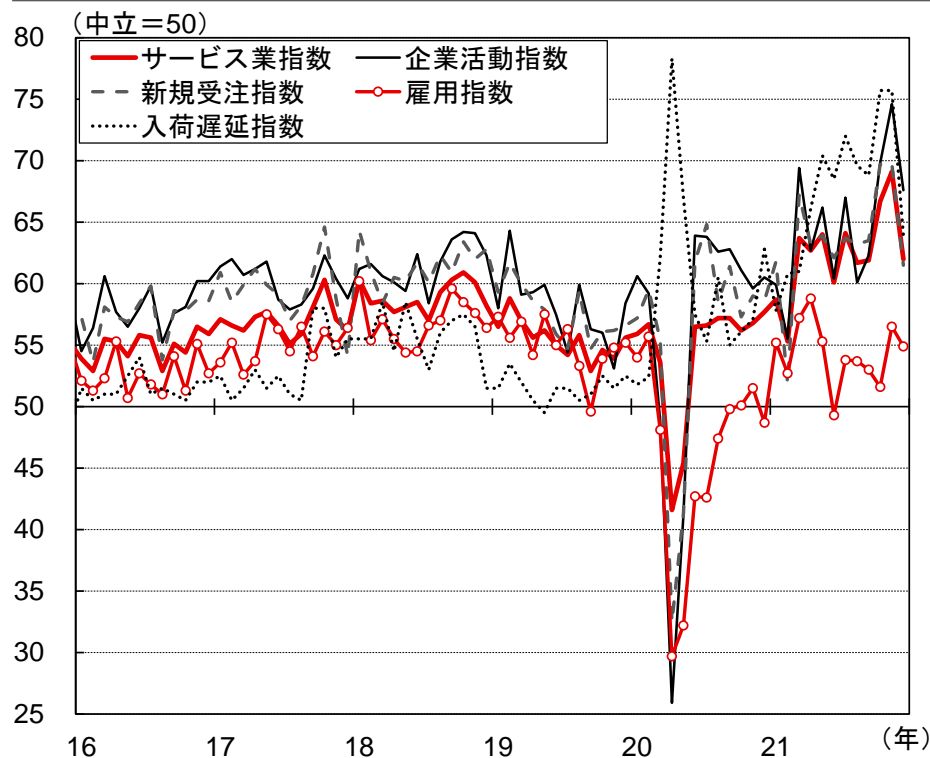
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数(総合指数)は、昨年12月に58.7(前月比▲2.4)と2ヵ月ぶりに低下。指数の構成項目をみると、入荷遅延指数(64.9、同▲7.3)が大幅に低下したほか、新規受注指数(60.4、同▲1.1)、生産指数(59.2、▲2.3)、在庫指数(54.7、同▲2.1)も夫々低下。総合指数は拡大と縮小の境目である50を19ヵ月連続で上回り、産業別では全18産業のうち15産業が拡大、3産業が縮小を報告(11月は13産業が拡大、2産業が縮小、3産業が横這い)。
- 12月のISMサービス業指数(総合指数)は62.0(前月比▲7.1)と4ヵ月ぶりに大幅低下。指数の構成項目をみると、入荷遅延指数(63.9、同▲11.8)、企業活動指数(67.6、同▲7.0)、新規受注指数(61.5、同▲8.2)が大きく低下。総合指数は50を19ヵ月連続で上回り、産業別では全16産業が拡大、1産業が縮小、1産業が横這いを報告(11月は全18産業が拡大)。
- 製造業、サービス業ともに入荷遅延指数が大幅に低下しており、供給制約が緩和しつつある可能性を示唆。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 生産

- 昨年12月の鉱工業生産は前月比▲0.1%と3カ月ぶりに小幅減少。産業別にみると、「鉱業」(同+2.0%)は石油・天然ガスを中心に増加した一方、「製造業」(同▲0.3%)は主に自動車・同部品(同▲1.3%)が減少、「公益事業(電力・ガス)」(同▲1.5%)も例年に比べ温暖な気候による暖房需要低下を受けて減少。12月の設備稼働率は76.5%と前月から0.1%ポイント低下。
- 11月の耐久財受注は前月比+2.6%と2カ月連続で増加。内訳をみると、全体の約3割を占める「輸送用機器」(同+6.5%)が「民間航空機」(同+34.0%)を中心に増加。一方、設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)は前月比横這い。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

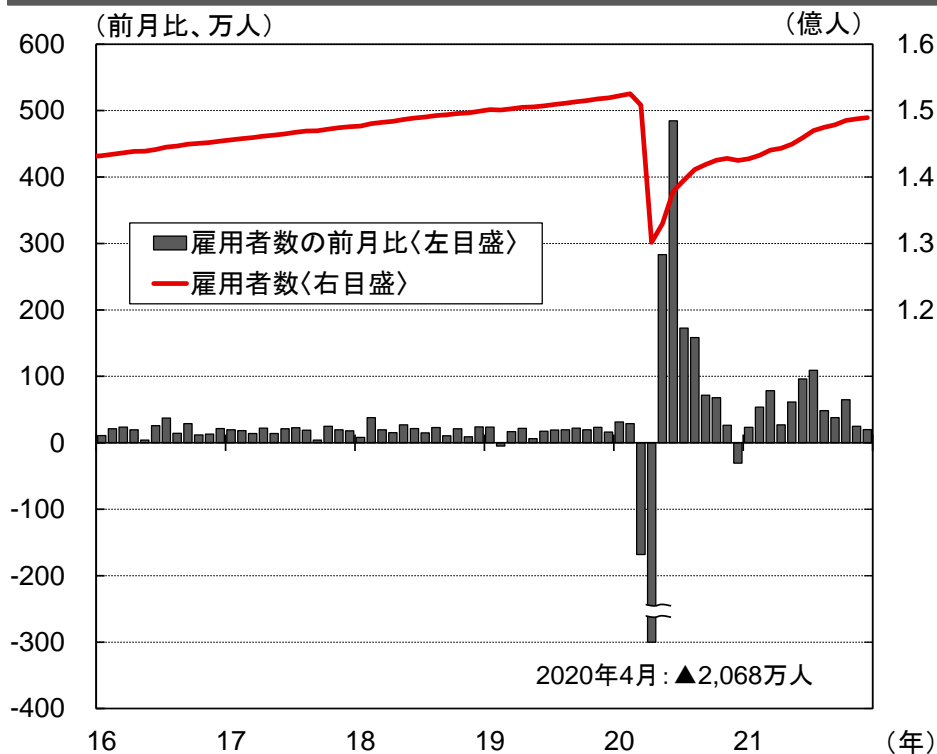


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用(1)

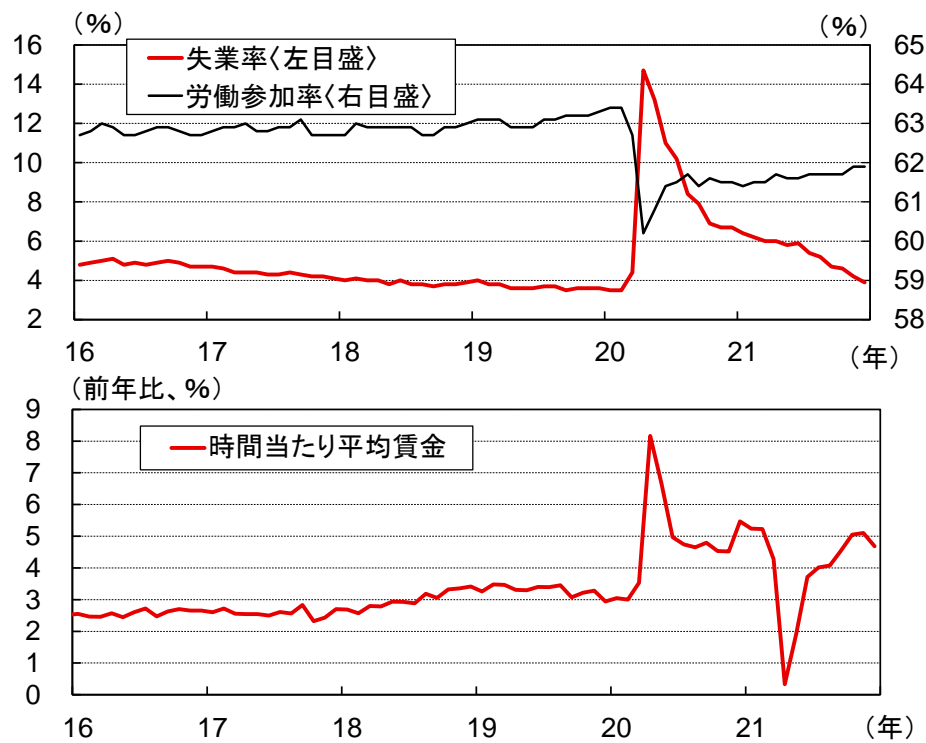
- 昨年12月の非農業部門雇用者数は前月比+19.9万人と前月(同+24.9万人、改定値)から伸びが鈍化し、市場予想(Bloomberg集計:同+45.0万人)を下回る結果。
- 業種別にみると、「レジャー・飲食」(同+5.3万人)、「専門・ビジネスサービス」(同+4.3万人)、「製造業」(同+2.6万人)、「建設業」(同+2.2万人)、「輸送・倉庫」(同+1.9万人)などが増加した一方、「公務」(同▲1.2万人)、「小売業」(同▲0.2万人)は減少。非農業部門雇用者数の水準はパンデミック前(2020年2月)に対して▲357万人(▲2.3%)。
- 12月の失業率は3.9%と前月から0.3%ポイント低下、失業者数は631.9万人(前月比▲48.3万人)と大幅に減少。一方、労働参加率は61.9%と前月比横這い。時間当たり平均賃金(民間部門)は前年比+4.7%と前月から減速も、パンデミック前の3%台を上回る高い伸びが継続。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率・労働参加率の推移

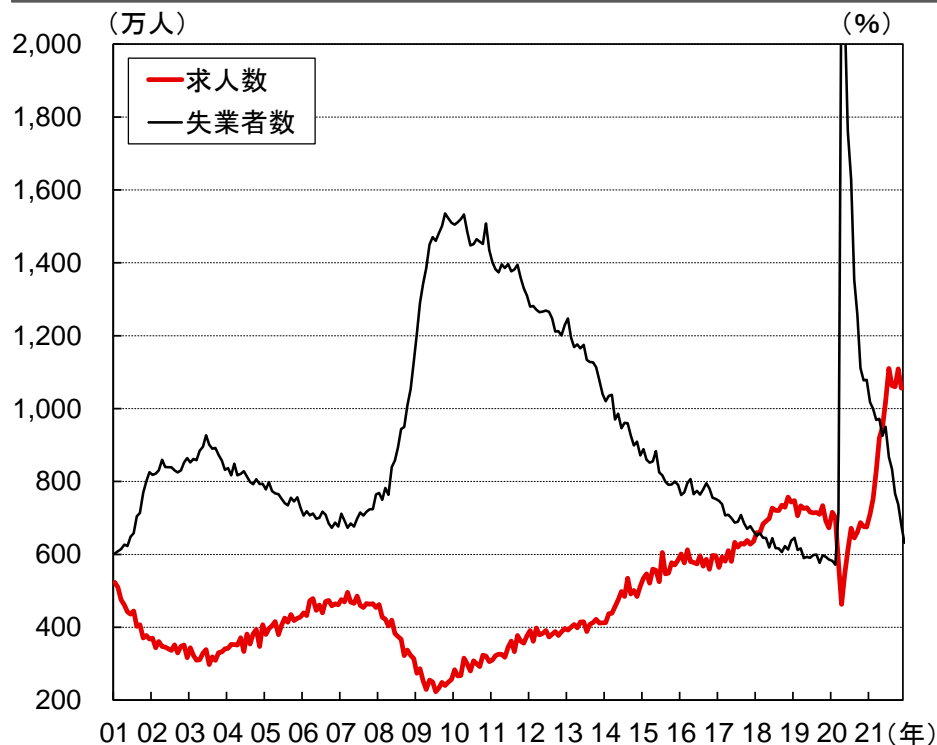


(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用(2)

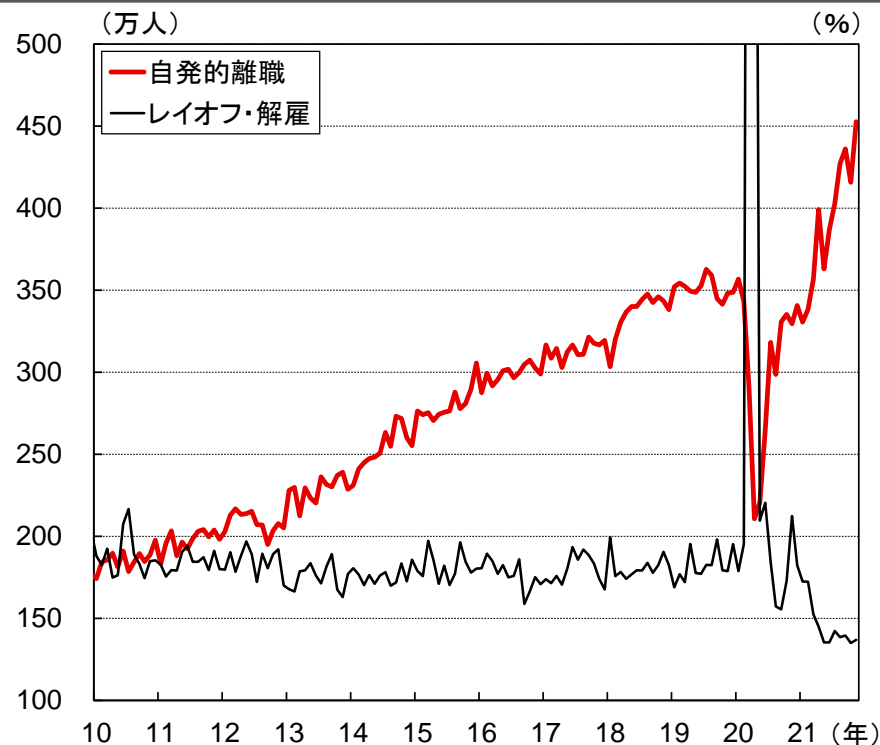
- 昨年11月の求人数は1,056.2万件(前月比▲52.9万件)と2ヵ月ぶりに減少。もともと、6ヵ月連続で1,000万件を上回る高水準が続いており、失業者数を上回るなど、労働需給の逼迫が継続。
- また、自発的離職者数は11月に452.7万人(同+37.0万人)と過去最高を記録。労働市場がタイトななかで好条件の仕事を求める動きが加速しているほか、長引くパンデミックを受けて働き方を見直す動きが継続。一方、レイオフ(一時解雇)・解雇による離職は低水準で推移。

求人数及び失業者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

離職者数の推移

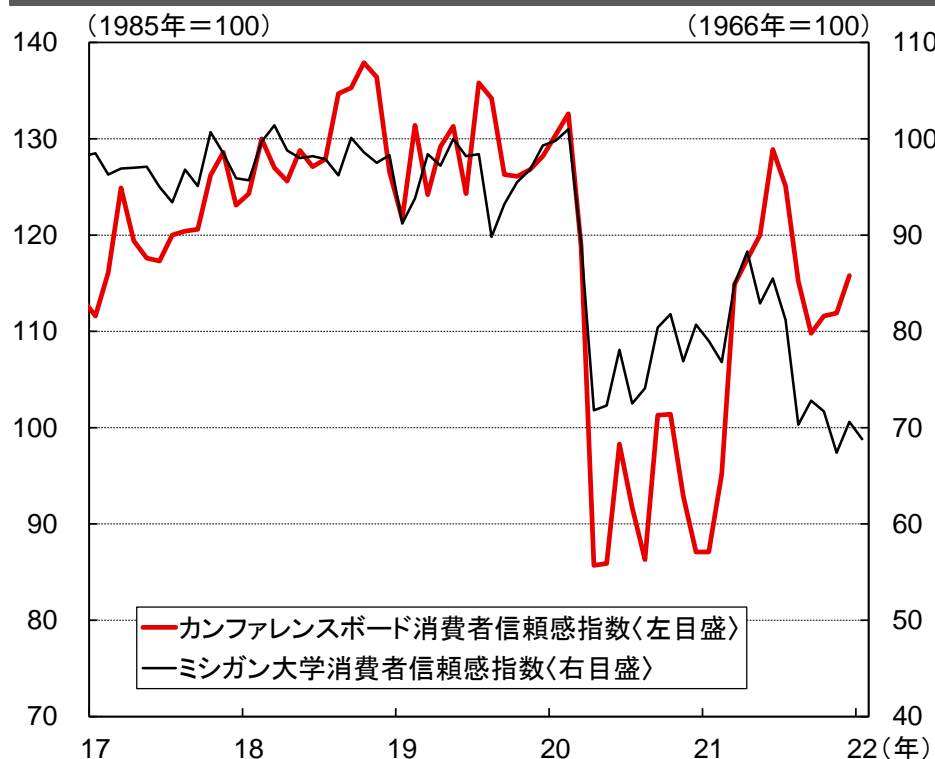


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 個人消費

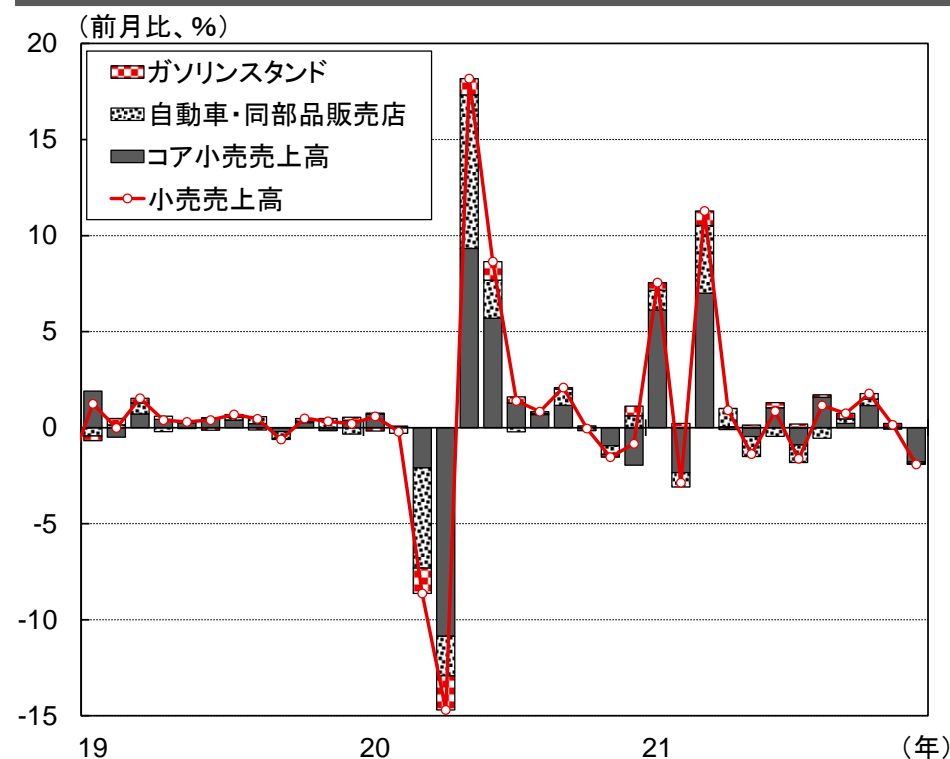
- 昨年12月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は、雇用改善を受けて115.8(前月比+3.9)と3カ月連続で上昇。一方、1月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は、新型コロナウイルス感染拡大や物価上昇により68.8(同▲1.8)と2カ月ぶりに低下。
- 12月の小売売上高は前月比▲1.9%と5カ月ぶりに減少、「ガソリンスタンド」と「自動車・同部品販売店」を除いたコア小売売上高は同▲2.5%と2カ月連続で減少。業種別にみると、「無店舗小売業」(同▲8.7%)、「家具等販売店」(同▲5.5%)、「スポーツ用品等販売店」(同▲4.3%)などが大幅に減少。供給制約や配達遅延への懸念からホリデーショッピングを前倒した反動が表れたとみられる。

消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

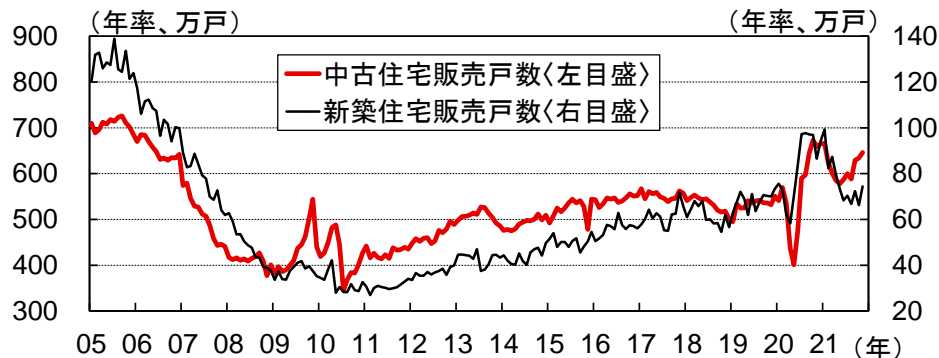
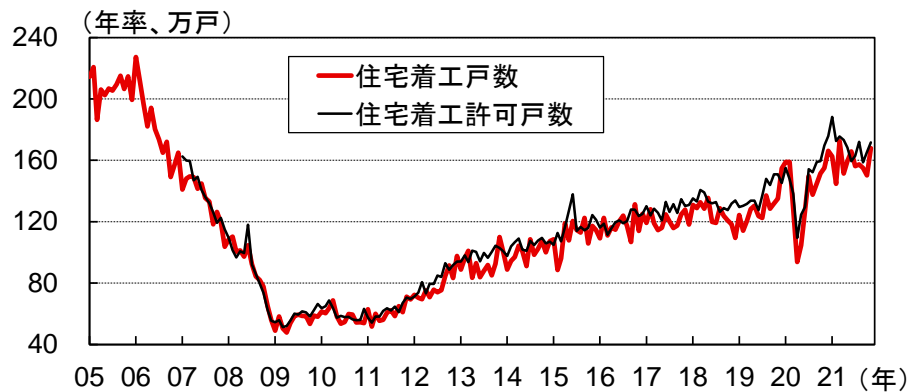


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅

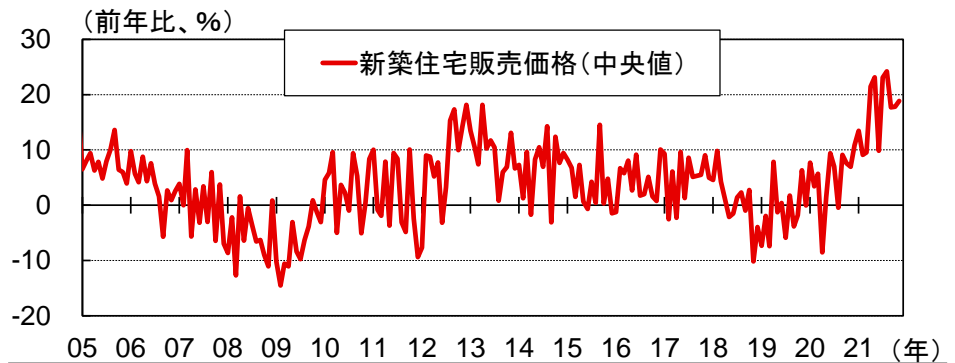
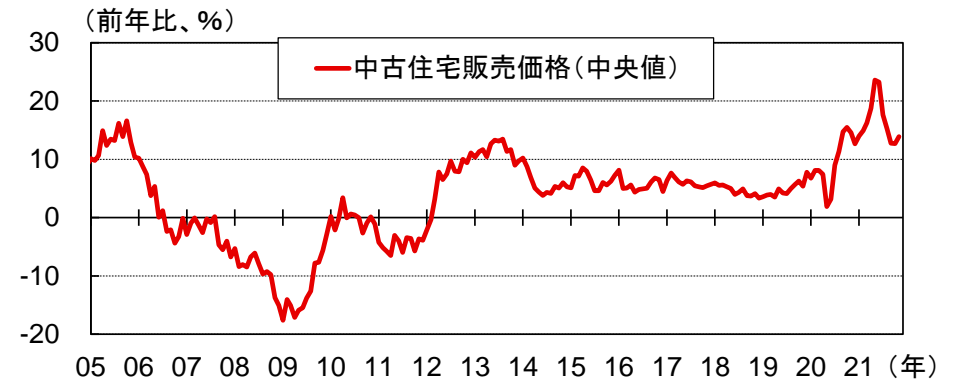
- 昨年11月の住宅着工戸数は前月比+11.8%の年率167.9万戸(季節調整済)と3ヵ月ぶりに増加。内訳をみると、一戸建住宅は同+11.3%、集合住宅(2世帯以上)は同+12.9%と夫々増加。先行指標である住宅着工許可戸数は同+3.9%の年率171.7万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で増加。
- 11月の住宅販売戸数は中古住宅が前月比+1.9%の年率646.0万戸(季節調整済)、新築住宅は同+12.4%の年率74.4万戸(季節調整済)と夫々増加。住宅販売価格は中古住宅が353,900ドル(中央値)、前年比+13.9%(10月:同+12.7%)、新築住宅は416,900ドル(中央値)、同+18.8%(同+17.8%)と前月から上昇幅が拡大。
- 11月の在庫率は中古住宅が2.2ヵ月(季節調整済)と前月(2.3ヵ月)から低下、新築住宅も6.5ヵ月(季節調整済)と前月(7.1ヵ月)から低下。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 物価

- 昨年12月の消費者物価指数は前年比+7.0%と11月(同+6.8%)から伸びが加速し、1982年6月以来の上昇率に。食品とエネルギーを除いたコア消費者物価指数も前年比+5.5%(11月:同+4.9%)と1991年2月以来の上昇率。内訳をみると、中古車(同+37.3%)や家賃(同+4.1%)などが大きく加速。
- 12月の生産者物価指数は前年比+9.7%と前月(同+9.8%)から伸びが小幅鈍化。一方、食品とエネルギーを除いたコア生産者物価指数は同+8.3%と、現行統計が開始された2010年11月以来最大の上昇率。内訳をみると、「財」(同+13.4%)は前月から伸びが減速した一方、「サービス」(同+7.9%)は伸びが加速。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移

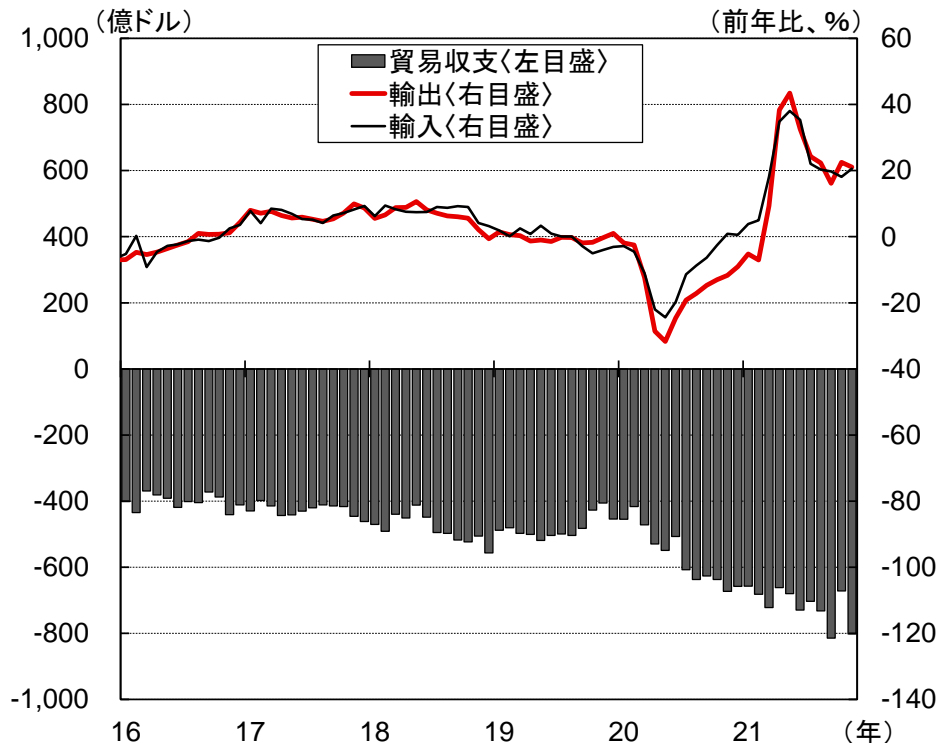


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 国際収支

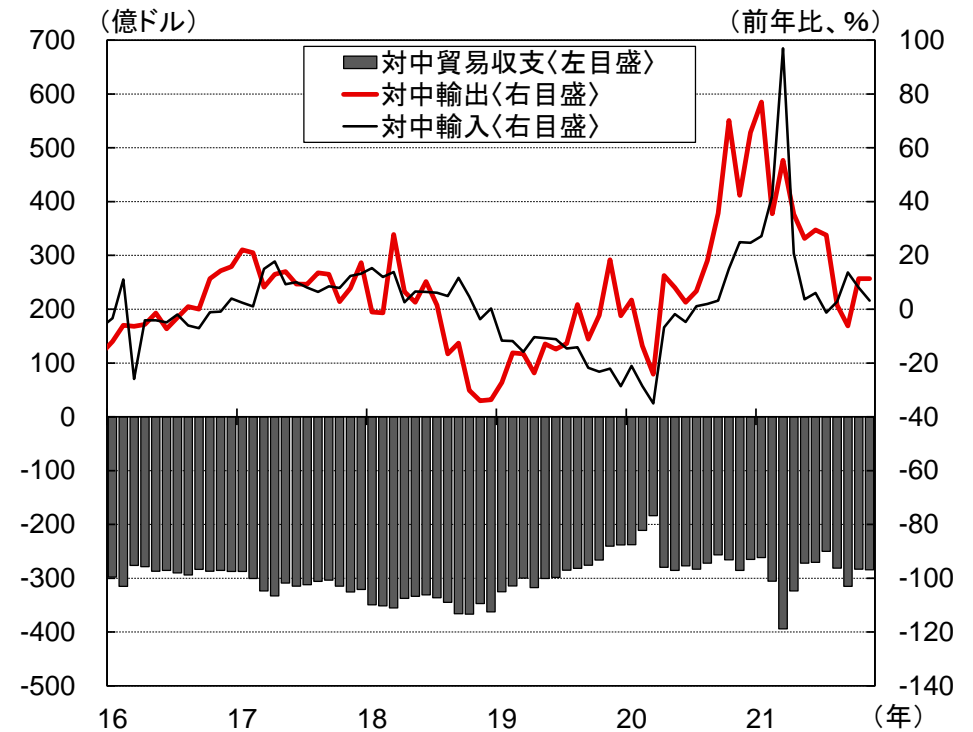
- 昨年11月の貿易収支(財・サービス)は802億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比+19.4%と拡大。輸出は同+0.2%、輸入は同+4.6%と夫々増加。前年比で見ると輸出は+21.1%、輸入は+20.6%。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は11月に284億ドルとなり、赤字幅は前月比+0.4%(同+1.1億ドル)と拡大。対中輸出(財)、対中輸入(財)は夫々同+0.4%と増加。前年比で見ると、対中輸出(財)は+11.4%、対中輸入(財)は同+3.2%と夫々増加。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注) 国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
 (資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注) 通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
 (資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、昨年12月のFOMC議事要旨が公表されて利上げ早期化の観測が高まったことなどから一時約2年ぶりとなる1.8%台まで上昇、足元も1.8%前後で推移。
- ダウ平均株価は、オミクロン変異株の感染拡大の影響は限定的との見方から堅調に推移していたが、その後金融政策正常化が早期化するとの観測が高まり、足元は軟調に推移。

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月
ISM 製造業指数	58.7	60.8	64.7	60.7	61.2	60.6	59.5	59.9	61.1	60.8	61.1	58.7	-
ISMサービス業指数	58.7	55.3	63.7	62.7	64.0	60.1	64.1	61.7	61.9	66.7	69.1	62.0	-
鉱工業生産指数(2012年平均=100)	99.4	96.4	99.2	99.2	99.9	100.5	101.2	101.0	100.0	101.3	102.0	101.9	-
前月比(%)	1.1	▲3.0	2.9	0.1	0.7	0.5	0.7	-0.2	-1.0	1.2	0.7	-0.1	-
設備稼働率(%)	75.0	72.7	74.8	74.8	75.3	75.7	76.2	76.0	75.2	76.1	76.6	76.5	-
製造業受注(億ドル)	4,792	4,812	4,881	4,874	4,986	5,061	5,095	5,146	5,171	5,234	5,318	-	-
前月比(%)	2.3	0.4	1.4	▲0.1	2.3	1.5	0.7	1.0	0.5	1.2	1.6	-	-
うち耐久財受注(億ドル)	2,432	2,463	2,495	2,476	2,555	2,577	2,588	2,623	2,614	2,617	2,684	-	-
前月比(%)	2.4	1.3	1.3	▲0.7	3.2	0.8	0.5	1.3	▲0.4	0.1	2.6	-	-
非農業部門雇用者数(前月比、万人)	23.3	53.6	78.5	26.9	61.4	96.2	109.1	48.3	37.9	64.8	24.9	19.9	-
時間当たり平均賃金(ドル)	29.92	30.00	29.97	30.17	30.31	30.44	30.55	30.67	30.84	31.01	31.12	31.31	-
前年比(%)	5.2	5.2	4.3	0.3	1.9	3.7	4.0	4.1	4.5	5.0	5.1	4.7	-
失業率(%)	6.4	6.2	6.0	6.0	5.8	5.9	5.4	5.2	4.7	4.6	4.2	3.9	-
個人所得(年率、億ドル)	215,045	199,551	241,424	209,245	205,147	205,705	208,189	208,899	206,846	207,778	208,682	-	-
前月比(%)	9.9	▲7.2	21.0	▲13.3	▲2.0	0.3	1.2	0.3	▲1.0	0.5	0.4	-	-
個人消費(年率、億ドル)	148,579	146,996	154,589	156,187	156,244	158,020	158,149	159,911	160,889	163,185	164,232	-	-
前月比(%)	3.3	▲1.1	5.2	1.0	0.0	1.1	0.1	1.1	0.6	1.4	0.6	-	-
貯蓄率(%)	19.9	13.5	26.6	12.6	10.4	9.5	10.5	9.8	8.1	7.1	6.9	-	-
小売売上高(億ドル)	5,765	5,600	6,231	6,288	6,201	6,254	6,153	6,224	6,270	6,381	6,391	6,268	-
前月比(%)	7.6	▲2.9	11.3	0.9	▲1.4	0.9	▲1.6	1.2	0.7	1.8	0.2	▲1.9	-
自動車販売台数(年率、万台)	1,678	1,593	1,764	1,830	1,689	1,547	1,467	1,309	1,228	1,305	1,290	1,243	-
前月比(%)	2.9	▲5.1	10.7	3.7	▲7.7	▲8.4	▲5.2	▲10.8	▲6.1	6.2	▲1.2	▲3.6	-
カンファレンスボード消費者信頼感指数	87.1	95.2	114.9	117.5	120.0	128.9	125.1	115.2	109.8	111.6	111.9	115.8	-
ミシガン大学消費者信頼感指数	79.0	76.8	84.9	88.3	82.9	85.5	81.2	70.3	72.8	71.7	67.4	70.6	68.8

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移

		21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	163	145	173	151	159	166	156	157	155	150	168	-	-
	前月比(%)	▲2.2	▲11.0	19.2	▲12.2	5.3	4.0	▲5.7	0.7	▲1.5	▲3.1	11.8	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	666	624	601	585	578	587	600	588	629	634	646	-	-
	前月比(%)	0.2	▲6.3	▲3.7	▲2.7	▲1.2	1.6	2.2	▲2.0	7.0	0.8	1.9	-	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	99	82	87	80	73	68	70	67	72	66	74	-	-
	前月比(%)	5.3	▲17.1	6.1	▲8.8	▲7.9	▲6.8	3.1	▲5.1	8.2	▲8.4	12.4	-	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	261.6	263.0	264.9	267.1	269.2	271.7	273.0	273.6	274.3	276.6	277.9	278.8	-
	前月比(%)	0.3	0.4	0.6	0.8	0.6	0.9	0.5	0.3	0.4	0.9	0.8	0.5	-
国際収支	前年比(%)	1.4	1.7	2.6	4.2	5.0	5.4	5.4	5.3	5.4	6.2	6.8	7.0	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	120.9	121.9	123.0	124.3	125.5	126.6	127.8	128.8	129.2	130.1	131.0	131.0	-
	前月比(%)	1.2	0.7	0.8	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.4	0.6	1.0	0.2	-
	前年比(%)	1.6	3.0	4.1	6.5	7.0	7.6	8.0	8.7	8.8	8.9	9.8	9.7	-
国際収支	輸出(財、億ドル)	1,344	1,303	1,436	1,451	1,457	1,460	1,488	1,499	1,429	1,588	1,559	-	-
	輸入(財、億ドル)	2,210	2,196	2,366	2,322	2,350	2,392	2,364	2,391	2,409	2,427	2,549	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲866	▲893	▲930	▲870	▲893	▲933	▲877	▲892	▲980	▲839	▲990	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲657	▲682	▲722	▲662	▲680	▲729	▲703	▲732	▲814	▲672	▲802	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp